



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田 眞徳 様のお話から ~ 平和学習

日本で百年も経たない昔に、原爆が投下されたということを容易に想像できないという事から、自分かどおぼろ「平和ボケ」しているのか分かった。また、原爆が投下された前後の事実をもっと詳しく学び考えることが一人の日本人として必要なのではないかと考えた。その際に、実際に戦争を経験された方から話を聞くことが、実際に戦争を経験された方に直接お話を聞ける最後の世代としての責任ではないかと感じた。今回のお話では、焦点が当てられておらず、以前の平和学習のふり返りでも触れた話でも、原爆は多くの物、人を犠牲にした、痛ましく悲惨な物であったことは前提として、「原爆を投下したこと、救われた命もある」という意見にも目を向けるべきだと私は考える。もし、原爆が投下されなかったとしたら、日本はまた戦いを続けていただろうし、それに伴い死者も出ていたと予測できるので、焦点を1つに絞るおにえして、日本人としての立ち場だけでなく世界から(客観的に)考えることが必要だと思った。また、このためにも原爆が投下された前後のことを学ぶ必要があると考え、関連する様々な機会を得ることとも必要だと考えた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

○ 戦争で被爆された方の中には原爆のことを知りな
いまませくなられた方がいるけど、すごく怖かったらう
なと思います。

○ 今の80代の方が戦争を経験しているけど原爆を
体験した人は少ない。今後もどんどん少なくなると思
う。私達が次世代に伝えられたとしても、体験者
と比べると説得力に欠けてしまう気がして風化させて
ほいけないと感じた。

○ このような授業は大切だし必要だけどこれだけ
で戦争は語れないし全部じゃない、分かった気にな
るのはいくないと思った。

○ このリトルボーイを運んだ人はどのような気持ちで終戦
を迎えたんだろう。私だったら、罪悪感でいっぱい
で反省レベルではないと思う。

○ その場にいた人たちがどれほどつらくて苦しかった
か、自分は生まれ地域と時間が違ったから助
かった。たまたまいあわせた人が罪など無いのに
亡くなれて残酷。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾の話は聞いたことありましたが、今回のお話ほど詳しく聞いたことはありませんでした。また、今回のお話は知らないことも多く、とても勉強になりあつというまに時間が過ぎていったなと感じました。

お話を聞きながらいくつか印象に残ったことがありました。まず1つめは原子爆弾の熱さです。私の中では原子爆弾は熱いということばかりであまりまへのことのように認識していました。しかし、その熱さは私の想像を絶するものだとわかりました。原爆は地上からわずか600mほど上で爆破されその熱さは太陽とほぼ変わらないそうです。それを聞いた私は改めて原爆の恐ろしさを痛感しました。

2つめは原爆の投下都市の候補は広島・長崎以外にもあったということです。私は原爆は必ず広島や長崎に投下すると決めていると思っていました。しかしお話によると元々は小倉や京都という全く想像していなかった場所も候補だったことを知りとても驚きました。

3つめは原子爆弾がパラシュートで落ちてきた説についてです。この話は私も聞いたことがあり少し気になっていました。実際はパラシュートで落ちてきていないことを知ると同時にラジオゾンデという機械を知ることができました。

今回の授業で原爆の恐ろしさを今まで以上に知ることができました。今、普通の日常を過ごすことができている幸せを噛みしめながらこれからも過



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生は広島、長崎の原爆についてくわしく話してくださいました。

原爆の怖さ、恐ろしさ、悲惨さをじっくり100分かけておしえてくださいました。音もついていたのでこわかったです。義三さんは広島の被爆してすぐの場所についてとても広島が今の広島ではないかと思うと思ってもそれ以上にひどいものだんだなと思います。そしてたった一発の1)Hルボーイ、ファットマンの投下で広島市では被爆者数24万人、死者数は14万人に及びます。このとき2万の人が一瞬でなくなり、5人に2人はなくなり、多くの方が原爆症になり、今もなお、この原爆症になやまされている人が多くいるそうです。

私はこの特別授業を通して、また"また"知らずのことが多くあると思いました。そしてこれから原爆のことを知らずの人たちがいなくなって行くのでこれから私たちがこの原爆のことを忘れずに伝えていきたいと思います。特別授業をしてくださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

池田さんは十七歳で陸軍に入り九日間も被爆者の方々のお世話もしていて、つらいし、やめたいと思っていたと思っ
うにも関わらず、一生懸命に被爆者の事も第一に考
えて助けているのが目に浮びました。もし自分だ、たら体
が固まって何もできないと思います。また、原子爆弾の
熱が7,000度であり、一瞬で全てのものが溶けてしま
うと考えると体がゾッとしました。私のひいおじいちゃんも
長崎で医者をしていて被爆者の方々を沢山治療し
てきたそうです。ひいおじいちゃんも被爆者の方々を一生
懸命治療していたと思います。

もうこのように残酷なことが二度とおきてほしくないと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/19

- ・きのこ雲がどうやって作られたのか分かりやすく知れた。
- ・ポンプキン爆弾が落とされていたことや原爆を落とす予定地があったことを大まかに知っていたが、投下都市の条件やアメリカ軍がどう考えて予定地を変更したかなど詳しく知ることができた。
- ・原爆を扱った漫画では原子爆弾にパラシュートを付けて落とされたと描かれていたが実際には違っていた。
- ・原子爆弾でできた球体の温度が 7000°C でその真下は 3000°C に対し、太陽の表面温度は 6000°C で太陽以上に熱い物が空にあったことや衝撃波の速さを知りとても恐ろしかった。
- ・70年程前にはアメリカしか持っていなかった核爆弾を今ではたくさんの国が持っている。
- ・死者数14万人の内、2万人もの方が一瞬でなくなり当時の広島市の人口の70%が被爆しており、改めて原子爆弾の威力を知った。
- ・授業の最初の話から「ドラム缶があり、物資運達のトラックが遅れた」という重なった偶然がなかったら無傷では済まず、今回のお話も聞けなかったと考えると恐ろしい。
- ・今回の特別授業を受講して原子爆弾の恐ろしさを知り、世界の平和のために自分が何ができるかを考え行動することが大事だと思えた。



名前は裏面に記入してください

じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆がいつ落されたのかは知っていただけと、

その過程を知りたかったので「聞いてよかったです」。

また、池田義三さんの体験談を聞く時、

思わぬ耳をふくま「た」なるようなこともありました。

私は広島原爆資料館に行ったことがあります。

その時見たものは池田さんがお話しされていたものが

どろりた「た」と思いました。しかし、池田さんは「綺麗

おもしろ」とおっしゃったのでおもしろかったです。

原爆ドームの中は壁が落ちておりました「けで」

当時、原爆の威力が「おほい」なものだったかと思えます。

時々思えます。自分はこんな平和な国の平和な時代に

生かされておりました。でも、今、平和なのは昔の人

たちが戦ってくれたからだと感じます。

だから私はこのことを忘れず「て」大切に

して「て」ことが必要だと感じます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の怖さや戦争の怖さを改めて
実感する事ができ、二度とこの
ような事がないように一人一人が
できることをちゃんとやっつけて
あげたいと思いました。

どれだけ怖くうら「思」えてい
たのか、考えて「たまり」もひびく
話をきくのも少しづつからかったです。
その場に立ち合「い」できることを「し「かり」
やった義三「さん」は「とても」精神力がある
並派な方だ「ら」思「い」ました。

今、自分が安全に暮らせてることに
感謝して「い」こうと思「い」ます。

また戦争の怖さは存「ぞん」も、伝えて「い」けれ
ば「ら」思「い」ます。

平和な世界が続くように日頃
から自分にできることを「し「て」
「い」こうと思「い」ました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、とても生々しい話
 だったなと感じた。小学生の頃もこのよな原爆の
 話しや戦争の話も聞いたことがあるが、
 被爆者の外傷や皮膚の様子、町の様子など、
 二つ細かく話をされたことは今更なかった。
 がしかし、今日聞いて、原爆は太陽よりも熱く、そして、
 衝撃波なども持ちあわせている、とても怖い兵器で
 あることを改めて実感した。また、アメリカが対策を
 練り日本に原爆を落とすことを知り、戦争は
 いけないことだと知り、アメリカは日本を降伏させようと
 力果的に爆弾の被害が出る場所を選んだのだと思った。
 今回の講演を聞いて、原爆について、新たな知識を
 得ることができたこと、見方が大きく変わりました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業では今までの平和学習とは少し違う視点から、今までは詳しくやっていないことを中心だった。今までの平和学習では戦争中の日本の状況やアメリカとのやりとりやどのように行われていたのかという様な何か起きてその結果どうなったのかということばかりも学んできていたから、今回の原爆先生の授業を通して当時の人の思いや具体的な被害を知ることができた。それと同時に戦争を経験したことのない私たちにできることは戦争はどの様なものだったのかを知り理解するのはもちろん当時の人の思いにどれだけ共感し理解してその思いを受け継ぎ後世に伝えていくことだ”と思う。けれど、実際に当時を生きていない私はどんなに理解しようとし、今回のような授業を受けて知識を増やしても理解しきれないところはある。それに加え、この授業で義三さんのお話を聞いて、戦争を経験したことのない私たちが被爆した方々やそのご家族の気持ちを理解するのは難しく時間がかかると思うし、簡単に理解して良いものでもないと思った。このことから、現代の何気ない日常がどれだけ平和で大切な日々かを感じ、多くの人がそう感じることで戦争は起きてほしくないものだ”ということと同時に理解することが戦争のない未来につながると思う。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生のお話を聞いてまず最初に感じたことは、すごく怖くて心か苦しくなりました。私は、原爆はとても強くて恐ろしいということをしっかり分かっていたのですが今回のお話を聞いて、私か考えていた以上に原爆は恐ろしかったです。お話を聞いている途中、頭の中で当時の様子を想像して鳥肌が止まりませんでした。それほど原爆は恐ろしいものなのだとは強く分かりました。原爆から出た放射線の影響で、今もなお原爆症に苦しんでいる人がいると知っていますごく怖かったです。原子爆弾の威力の話の中で、原爆の温度は太陽よりも高く、それが私たちの600m上にあると想像してみると、どんぐらゐの熱さなんだろうと想像してもしきれませんでした。原爆の話は本当に怖かったですけど、また改めて戦争について考えることができたので良かったです。今日は、本当にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回のお話を聞いて衝撃が言葉に表すのが難しいです。原爆というものがどれだけおそろしいものなのかわるがわりと知れてよかったです。当時、17歳で陸軍船舶兵特別幹部候補生として入隊されていた池田義三さんの話を聞いて投下されたときの気持ち、周りにいた被爆者の人達に対して身替ることができなかつたというおなishさか伝わってきつらい気持ちになりました。投下されてから九日間、長いようで短かかったという言葉には、どれだけつらくて、苦しくてどれだけ大変だったかわるがわりと身にしみて伝わってきました。

直経約200mに広がり7000℃の原爆がスカイツリーの第二展望台から爆破となると本当に熱くて痛いというのを想像しただけでも怖いです。あの熱に人間は水蒸気となりまわりの影法師が残っているという原爆先生の投下されるときの音が本当に怖くてびっくりしました。今日のお話を通して、当時こんなことが起きたかということについて少し知れてよかったです。もうこのようなことが二度と起きないことを願います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業で戦争は絶対してはいけない
と思いました。最初の50分の授業がとてもこわくて、
聞いている間、ふるえが止まりませんでした。とくに、
原爆が落ちる瞬間の音が世界の終わりみたいな
感じがして、ほんとうにこわかったです。そして、そのあとの
体験談の話が、現実とは受け入れられないくらい
ことで、もし自分がその立場だったらと考えたら、助け
ようとしても助けられないから苦しくて、悲しくて、最悪な
気持ちになるなと思いました。また、原爆を落とさずア
メリカも、本当は原爆を落とさなかったけれど、日本を
降伏させるために落としたのでないのかなと思いました。
最後のビデオは私達に一生懸命、戦争のつらさ
を伝えてくださり、絶対に戦争はしてはいけないと、
思いました。



各前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生が途中で大きな声を出した時、とてもびっくりしたけど、そのくらい爆弾がとてつもなく大きい音だったということに恐しく思った。太陽よりも熱い7000℃の爆弾との間が600mしかないということは全然想像はできないけれど、当時の人たちはこんな恐怖と戦っていたのはすごいし、私にはできないだろうなと感じた。原爆先生のお話は“恐怖”という言葉以外何も出てこなかった。最後にもう亡くなってしまった池田義三さんの涙ぐみながら話してくださっているビデオを見てもう二度と戦争をしてはいけない、生きていく中で一番戦争が悪いことなんじゃないかと思った。あと飛行機の“エノラ・ゲイ”という名前はパイロットのお母さんの名前と聞いて心底驚いた。そしてこの広島・長崎の原爆の話は昔のことだからといって忘れるようなことはせず、覚えていたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

名前は裏面に記入してください

とても怖かった。原爆先生のお話を聞いただけでも怖かったのに、実際は現地にいた義三さんは、当時原子爆弾についての詳しいことも知らなかったのに、広島のおどろい有り様を見て恐怖と混乱で大変だったのだと思う。今まで原爆についてネットで調べてみたり、原爆についての動画などは見たことがあったから、実際に話を聞いてみると、想像を超える原爆の恐ろしさを知ることができた。

こんなことがあったのに関わらず、世界ではいまだに核兵器を持つ国がたかまあるので、広島や長崎での被害をまたおこさないように、私達のような世代が、今回聞かせて頂いた話を後世に継いでいって、世界に訴えることが必要なのかなと思えた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は修学旅行の調べ学習で長崎の原子爆弾について調べました。後遺症、被害についてくわしく調べました。今回広島島の原子爆弾についても知れて、とても良い経験になりました。今、関東で過ごしている中で、広島や長崎の原子爆弾についてはほとんど分らない事があったため、とまへの話などと思っていました。ですが、原爆先生の話を聞いて前の話というより、ことごとくあわせてはいけなくて、今後私たちが次世代へつたいていくべき事なんだと思いました。池田義三さんの経験してまた話を聞いてとても胸が苦しくなりました。そして逃げ出すために向き合って仕事をしている池田晋三さんの姿が想像できてとても感動しました。最後の映像を見てあらためて忘れてはいけません。記憶から消してはいけません事なんだと思いました。今も現在当時の被害が残っている人々、後遺症をひどくおやんでいる人々もたくさんいると思います。その人たちのため、当時の人々のために私はこの話を次世代につたげていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/29

義三さんが主人公の物語を、想像しながら聞いていくに連れて胸が締め付けられていき、ぞっとする様なことから、涙がにじむほどの恐怖があったりと今まで体験したことのない気持ちになれてとても貴重な体験ができて良かったです。

また、初めて知ったこともあります。1つ目は、原子爆弾投下には6つの候補の都市があったことです。

もし、他の都市に原子爆弾が落下していたら、昔の人はもっと大変な思いをしていたかもしれません。

2つ目は、原子爆弾の投下方法です。原爆の「リトルボーイ(4t)」の大きさは思っていたよりかなり小さめでした。私の予想は6,7tくらいだと思っていましたが、あの可愛らしい名前の爆弾がパラシュートと、ラジコンで約6000mの高さで投下されるのは物凄く想像の付かないことです。

3つ目は、奇跡的に助かった人のことです。その人は、コンクリートで作られた電話局の地下に居たため奇跡的に助かって本当に良かったと感動しました。最後に見た動画でお話ししてくれた人がだんたん涙があらわれて

いったのを見て、本当につらかったんだなあと思いを元張ってこらえ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の原爆先生の特別授業を受講して、改めて本当に原爆は怖いものだと知りました。原爆先生のおかげでわからなかったことや初めて聞いたことなどを知ることができました。

1つ目はラジオゾンテです。ラジオゾンテは、上空の気温、湿度、風向、風速、風力を測る気象観測器のこと。

これが、パラシュートに吊ら下げて、原爆として投下されたこと、ほんとに恐怖でしかないなと思いました。

2つ目は、エラ・ガイという機体の名称の由来が、ティバツ大佐の母親、エラ・ガイという名前だったということ。そして、100分という短い時間でわかるようになったことがたくさん知れて嬉しかったです。

あと、この原爆が広島と長崎に投下されたことを、決して忘れてはいけないことだと思いました。たくさんの方が亡くなって、街にも被害がでて、

ほんとに悲しいことだと思っています。最後の池田義三さんの動画を見て、うちまで辛くなったし、実際に、いた池田さんもめちゃめちゃ辛そうでした。そのときに、私は

もう二度と、このような原爆がおこらないでほしいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

9/30

今日のお話を聞いてしばらく腕や脚の力が抜けてしまいました。中一の頃国語で戦争について少し教えてもらいました。その時は戦争はこわいなと思いましたが、今日のお話を聞き、改めて戦争と原子爆弾の恐ろしさを学びました。原爆先生が読んでくださった70000の少年で池田さん達が体馬喰されたことに、ふるえがとまりませんでした。広島平和記念資料館の熱線をあびた人をまねた人形をみておどろきましたが池田さんはそれすぎるというので、あの人形以上のことが実際におきたのか信じられませんでした。原子爆弾の熱線で1人の男性が消え、黒いしみになったことで原子爆弾の恐ろしさを少し理解できました。お話を聞いていた時、心がもやもやした暗く、沈んだ思いになりました。皮膚がただれたのを見たこともないし、見たくもありませんが、実際にあつたことに何も言えません。広島や長崎におとされた理由が平野で、今までに空襲がなかった都市だけでおとされてしまったことにとても悲しいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この度は、原爆の話をしていただきありがとうございました。
私は、原爆について深くは知らなかったのですが、今回知る機会を一人
の人間として日本として知れてよかったです。昔、国語の先生から
聞いたものより、しても恐しくて、哀しくて怖かったです。
特に、心に残ったのは、指揮官がミサイルに自分の母親の名前
をつけたというエピソードで、何故その名前にしたのか調べてみたいと
思いました。もう一つは、長崎の7000人の少年の話で、最後に見た
ビデオが印象強く残ったのと、17~8才のお姉さんの手紙とエピソードが
強く記憶に残っています。私と2~3才も変わらないのに、痛み
や苦しみに悶えて、涙をながさなかつたという話に感動しました。
私も痛い事に苦手ですが、このことを出して頑張りたいです。
今回、池田先生の話を聞いて、戦争が被爆に関して、二度と
起こってはならない事だかと思っただけと同時に恐ろしい物だかと思
いました。今、戦争してたり、放射線を使ってる争ってる国の
ニュースとかいつもさけています。だから、今日からは、ちゃんと
見ようと思いました。今度(長崎)が広島に行く機会があれば、
被爆した現地が資料館などに行ってみようかと思いました。今回は、
貴ちゃんな機会をありがとうございました。また機会があれば、
世界中の紛争戦争について調べてみようと思います。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて、私はたくさんのお話を学び、感情的な気持ちになりました。紀田義三さんは17歳で入隊して、すごい思いをもちながら最後まで生きていたと思うと、とてもすごいです。

原爆を落とす候補が、広島と長崎以外あると聞いて驚きました。

しかも、その候補が、小倉、横浜、新潟、京都でこの中で「京都が一番

選ばれていた」ということにも衝撃を受けました。原爆投下は、この候補に選ばれていた場所の天候が悪かったら、選ばれていなかったと思うと

なんだか複雑な気持ちになります。その時、どの場所も天候が悪くて

原爆が海に落とされていけば「何十万人もの人が「死なないで済んだ」のかも

しれません。被爆者の人は「言葉」で表すことはできないくらい痛くて、

苦しくてしんどいのに、兵隊さんに助けを求めている所を想像すると、胸が苦しく

なりました。それは、被爆者と助けを求められている兵隊さんの気持ちどちらの

気持ちを想像できるからです。授業の最後に見た、義三さんの動画を見て、

実際その時にいた人しか分からないものがあるって、やっぱり目で見る限り、

伝えきれないものがあるんだと私は思いました。私が想像している現場

より予想以上に越えてくる光景だと思っています。まだまだこの授業で教わった

ことが他にもたくさんあるけど、それを踏まえてやっぱり、広島・長崎原爆投下

のことは大人になっても忘れてはいけないし、これからの世代の人たちにも

知ってもらわなければならないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆という存在は知っていても、これほど面白い話はあまり聞いたことがありませんでした。最初、どのように講演するのかと心配したのですが、始まってみると、池田先生は感情移入しながら話しかけたので、驚きました。

話を段々と聞いていくうちに本当にこのようなものが日本に落とされたんだ...。と思いました。全ての数の単位は万や十など、私が普段目にする数ではなく、あの一つの塊で何十万という数の人間を殺せることに驚きです。

そして私が衝撃を受けたことは2つです。1つはこのアメリカが1つの都市を破壊するために原爆を落とす候補を選んでいたこと。

そして私たちはアメリカの実験動物のように扱われ、大量の命を落としました。2つは、義三さんが原爆ドームの人形を見た時「綺麗すぎる」と言ったことです。私は先生から聞いた瞬間、

目を見開きました。話の途中途中で、被爆者の腕をうかぶと肉片がはがれおちるや、服と皮膚がくっついていたりなど想像するだけでも恐いのに、義三さんは見た瞬間「綺麗すぎる」と言ったことは、私たちが想像している以上のものということ。そして更にそれを見て触れたという体験していること。私もいつか死ぬ前に原爆ドームに足を踏み入れてみたいですね。貴重な講演ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

小学校のころにも原爆について、講義を聞いたことはあるが

あらためて、悲惨な出来事だと実感した。

突然大きな音があり、10mもふっとぼされるのも大分ニッリになるが

なによりも、黒こげになり、体内の水分が無い状態の人たちが

且かけを求められた池田義三さんは、とても辛かったろうなと思う。

爆心中下にいる人達は、ほんの数秒で跡形も無く消えてしまった

というのはとても信じられなかったが、黒い影が残っている写真を見て

人間がこんなにも一瞬で消えてしまうことに恐怖を覚えた。

原爆は7アットトンとリトルボーイというものが使われたらしいが

どちらも3mくらいしかないので、7000°もの高温でこんなに大規模

な都市を滅ぼしたということに衝撃を受けた。また、この時代に

すでにこの原爆が作られていたということは、現在の化学では

もっと大きな原爆が作られてしまうのではないかと本当に

このような出来事がこの先起こるは避けられないと感じさせられた。

この先二度と同じことをくり返さないためにも、私たちはこの出来

事を語り継ぎなければいけない。

今回の講義は、私たちに原爆の恐ろしさを理解させる

いい機会になった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は夏休みに家族で「太陽の子」という映画を見ました。太陽の子は原子爆弾を開発しようとする人たちのお話しです。今回の特別授業を聞いて知ってることもありました。知らないことのほうがとても多かったです。太陽の子を見ていたので原子爆弾について多少知って

いることはありました。もともと、原子爆弾はたくさんの人を殺してはいけません。たくさんの人を苦しめてしまうものだ”と知っていたのですが、映画を見て、そのたくさんの人を苦しめる、原子爆弾を日本人も作ろうとしていたことに驚きました。そして、その原子爆弾が2回も投下され、たくさんの方が亡くなり、今でもたくさんの方が苦しみながら生きています。そのことを日本人の人はみんな知らなくては

いけないと思うし、世界の人たちにも知ってほしいと思います。日本人は昔に、原爆でどれだけの人が苦しんで来たかを知り、繋いでいかなくてはいけないと思います。

私は今回の特別授業を聞くことができ、すごく良い体馬金になりました。自分の知らないことをたくさん知ることができ、家族にも、原爆で実際にあったことを教えてあげることができました。他にも少し気になったことがあったのでそれについて、調べてみようかなと思いました。そして、もっとたくさん知ることができたら良いです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について、平和学習をきっかけにぐわしく知ること
ができました。原爆先生のお話ほととてもつら
苦しい内容でしたが、それでも私たちは日本
人として知るべきことだと思いはりました。歴史の
授業などで触れることはありましたが、実
際に実体験者の方のお話を聞くことは
なかった。ので受講することができて良かった
です。私の想像以上に過酷な日々を
すごされていてとても心が痛かったです。
とても想像できないような事が戦争によって
実際に起こってしまったことがとても悲しい
です。こうして原爆先生が授業をしに
来てくれたことに感謝してきます。
私は今回の特別授業がなければ今後
も深く知ることができなかったと思はります。
そして今、私が平和な日々を送れて
いることは当たり前ではないことを身に
沁み感じて感しました。